

パラスポーツ体験型授業「あすチャレ！スクール」広島開催

2月5日～2月9日 県内5小中特別支援学校等で

シドニーパラリンピック男子車いすバスケットボール日本代表キャプテン^{ねぎしんじ}根木慎志氏 来広！！

2月5日（月）から2月9日（金）のうちの5日間、県内5小中特別支援学校等で、パラリンピック出場経験のある根木慎志氏を講師に迎え、パラスポーツ体験型授業「あすチャレ！スクール」を開催します。

パラスポーツの体験やパラアスリートとの交流を通じて、「障がい」とは何か、夢・目標を持ちチャレンジすることの大切さ、多様性が尊重される共生社会について考える内容となっております。是非、取材をお願いします！！



1 日時・実施校等

日時		実施校
2/5（月）	10：30～12：00	広島市立みどり坂小学校（広島市安芸区瀬野西1丁目38-1）
2/6（火）	10：20～11：50	県立広島北特別支援学校（広島市安佐北区三入東1丁目25-1）
2/7（水）	13：05～14：35	竹原市立大乘小学校（竹原市高崎町185-7）
2/8（木）	10：25～11：55	福山市立日吉台小学校（福山市日吉台一丁目15番1号）
2/9（金）	10：45～12：15	坂町立坂中学校（安芸郡坂町横浜中央1丁目6番57号）

2 講師

- ・根木^{ねぎしんじ} 慎志 氏（プログラム：車いすバスケットボール）
（シドニーパラリンピック男子車いすバスケットボール日本代表キャプテン/
日本財団パラスポーツサポートセンター「あすチャレ！」プロジェクトディレクター）

3 表敬訪問

「あすチャレ！スクール」根木講師が、県教育長へ表敬訪問します。

- (1) 日時
令和6年2月5日（月）16：15～
- (2) 場所
広島県庁東館4階 教育長室

4 その他

パラスポーツ体験型授業「あすチャレ！スクール」開催校のうち、以下の学校は、取材不可の児童生徒がおりますので、取材を希望される場合は、個別に学校と相談してください。

- ・2/6 県立広島北特別支援学校（担当 山崎教諭） TEL 082-818-1201
- ・2/8 福山市立日吉台小学校（担当 近藤校長） TEL 084-943-4856
- ・2/9 坂町立坂中学校（担当 谷川教諭） TEL 082-885-0004

5 主催

公益財団法人 日本財団パラスポーツサポートセンター

あすチャレ！スクール

<https://www.parasapo.tokyo/asuchalle/school/>

あすチャレ！スクール

検索



あすチャレ！スクール メディア資料

「あすチャレ！スクール」のご取材をいただきありがとうございます。

本授業に関して記事、番組等でご紹介いただけます際には

「あすチャレ！スクール」(主催:日本財団パラスポーツサポートセンター)とコメントまたはクレジット記載をお願いいたします。

本授業を含む「あすチャレ！」は、小・中・高・特別支援学校向け教育プログラム、企業・団体、自治体、大学向けの研修プログラムがあり、子どもから大人まで全国で活用されています。

なお、2023年度は以下の協賛社とともに実施しています。

【GOLD PARTNER】株式会社ブリヂストン、株式会社JTB

【OFFICIAL PARTNER】中外製薬株式会社、日本電気株式会社、株式会社アシックス、日本航空株式会社

※「あすチャレ！」教育・研修プログラム 2023年度の協賛については以下リリースをご参照ください。

(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000119.000023445.html>)

小・中・高・特別支援学校向け教育プログラム「あすチャレ！スクール」とは

日本財団パラスポーツサポートセンター(パラサポ)が主催する「あすチャレ！スクール」は、パラアスリートを中心とした障がい当事者講師から共生社会を学ぶ、小・中・高・特別支援学校向けパラスポーツ体験型出前授業。講師との対話を通じ、児童・生徒1人ひとりが「自分には何ができるか？」を考える機会を創出します。

パラスポーツを通じ共生社会への気づきや学びの機会を提供する教育・研修プログラム「あすチャレ！(明日へのチャレンジ)」のひとつです。

2016年4月に開始した本プログラムは、2023年3月末までに全国47都道府県で累計1,717回・約22万人の児童生徒が参加しています。

■ 実績	2016年度:116回(18,575人)	2017年度:263回(42,741人)
	2018年度:296回(46,253人)	2019年度:287回(41,889人)
	2020年度:134回(12,559人)	2021年度:277回(23,960人)
	2022年度:344回(30,537人)	

特徴① 効果的な3部構成のプログラム！

パラスポーツデモンストレーション⇒パラスポーツ体験⇒講話の流れで実施することで、初めにパラスポーツの「すごさ」「かっこよさ」を体感でき、「障がい」に対する意識の転換を図り、「伝えたい気づきと学び」をより効果的に促すことができます。



《パラスポーツデモンストレーション》

パラアスリートのハイパフォーマンスを生で見ることで迫力やスキルを肌で感じ、「すごい」「かっこいい」を体験しながら、障がいに対する意識の転換を図ります。



《体験》

パラスポーツを体験することで「楽しさ」「難しさ」を頭で理解するのではなく、体を使って理解することができます。



《講話》

講師がパラスポーツを通じて得た経験・教訓を交えながら、「4つの学び」について子どもたちと一緒に考えます。

特徴② パラスリートが講師！



根木 慎志(ねぎ しんじ)

【車いすバスケットボールプログラム】
シドニーパラリンピック男子車いすバスケットボール日本代表キャプテン
日本財団パラスポーツサポートセンター
「あすチャレ！」プロジェクトディレクター



加藤 正(かとう ただし)

【車いすバスケットボールプログラム】
パラリンピック夏冬合わせて5回出場のマルチアスリート



神保 康広(じんぼ やすひろ)

【車いすバスケットボールプログラム】
パラリンピック男子車いすバスケットボール元日本代表(4大会出場)



橘 貴啓(たちばな たかひろ)

【車いすバスケットボールプログラム】
車いすバスケットボールチーム「NO EXCUSE」現役プレーヤー



永尾 嘉章(ながお よしふみ)

【車いす陸上プログラム】
夏季パラリンピックに7大会出場
(夏季大会出場回数は日本人最多)
アテネパラリンピック日本選手団主将
4×400m(T53/54クラス)銅メダル獲得



高田 朋枝(たかだ ともえ)

【ゴールボールプログラム】
北京パラリンピック女子ゴールボール日本代表(7位入賞)
インドネシア2018アジアパラ競技大会 金メダル

特徴③ 伝えたい4つの学び！

他者のことを

自分ごととして考える心

他者が抱える問題を自分のこと、同じ仲間のこととして捉える力を持つ大切さを学ぶことができます。

障がいとはなにか？

「障がい」とは「障がい者自身」が持つものではなく、社会に存在するものとする考え方や多様性を認め合うことの大切さを学ぶことができます。

可能性に挑戦する勇気

「障がい」の有無に関係なく、すべての人が個々の可能性を持っていることに気づき、勇気を持って挑戦することの素晴らしさを学ぶことができます。

「夢」や「目標」を持つ力

パラアスリートがアスリート生活を通じて経験してきた夢や目標を持つ価値と重要性について直接話を聞くことで肌で感じることができます。

全国での実施実績や参加した児童生徒、教員の声はこちら(QRコード参照)



プログラム概要

実施地域: 全国

実施対象: 小・中・高・特別支援学校の児童生徒

実施人数: 1学年～全校生徒(応相談)

実施時間: 90分

実施費用: 30,000円/回(交通費・消費税等額含)

募集期間: 年間4回

第1次募集 2023年1月30日(月)～2月10日(金) (2023年4月～6月実施分)

第2次募集 2023年4月10日(月)～4月21日(金) (2023年7月～9月実施分)

第3次募集 2023年7月3日(月)～7月14日(金) (2023年10月～12月実施分)

第4次募集 2023年10月2日(月)～10月13日(金) (2024年1月～3月実施分)

D&I社会実現に向けた教育・研修プログラム「あすチャレ！」

パラサポはダイバーシティ&インクルージョン(D&I)社会の実現に向け小・中・高・特別支援学校向けの教育プログラム、企業・団体、自治体や大学で活用されている研修プログラムを提供しています。

小・中・高・特別支援学校
向け教育プログラム

小・中・高・特別支援学校
向け教育プログラム

企業・団体・自治体・大学
向け研修プログラム

あすチャレ! スクール



パラスポーツのデモンストレーション、体験、講話を通じ共生社会への気づきや学びの機会を提供するパラスポーツ体験型出前授業。

あすチャレ! ジュニアアカデミー



チガイが際立つパラアスリート講師から共生社会を学ぶワークショップ型授業。受講形式はオンライン、対面を選択可。

あすチャレ! Academy



パラアスリート講師とのコミュニケーションを通じ障がいに対するギモンを解決。コミュニケーション編、合理的配慮編などのプランがありオンライン、対面、ハイブリッドを選択可。

小・中・高・特別支援学校
向け教育プログラム

企業・団体・自治体・大学
向け研修プログラム

小・中・高・特別支援学校
向け教育プログラム

企業・団体・自治体・大学
向け研修プログラム

あすチャレ! 運動会



パラスポーツの魅力「リアル」に体感してもらい、そこから生まれる「気づき」を提供するパラスポーツ運動会プログラム。

あすチャレ! メッセンジャー



スピーチトレーニングを経て、伝えるスキルを体得したパラリンピアンやパラアスリートの認定講師(メッセンジャー)による講演プログラム。

教育・研修プログラム「あすチャレ！」の特徴

- ✓ 講師はトレーニングを受けたパラアスリートを中心とした約80名
- ✓ これまでに全国で約3,800回、40万人以上が参加(5プログラム合計 | 2016年4月~2023年3月末)
- ✓ オンライン、対面、ハイブリッド型と選択できる受講形式



パラリンピック競技団体・アスリート支援



28のパラリンピック競技団体が活用している共同オフィス (東京都港区赤坂)



パラスポーツ専用体育館「日本財団パラアリーナ」(東京都品川区東八潮)

パラリンピック競技団体の基盤強化を目的とし、2015年11月にオープンしたパラリンピック競技団体・関係団体との**共同オフィス運営**、安定した団体運営に欠かせない事務局人件費、普及啓発費、広報・マーケティング費を中心とした**助成金制度**、そして事務局コスト削減とガバナンス強化を目的とした競技団体向け**シェアードサービスの提供**などを実施。

2018年6月からは、パラアスリートの練習環境整備を目的とした**パラスポーツ専用体育館を運営**しています。パラリンピック競技の日本代表チームやクラブチームの練習等で、延べ4万人を超えるパラアスリートが活用。* 2020年度はコロナ療養施設として利用のため休館

【メディアからのお問い合わせ先】

パラサポ PR 事務局 (株)アンティル 担当:水口・松下・根本(緊急連絡先 根本:090-4811-8024)

TEL:03-6821-7863/ FAX:03-6685-5265/ MAIL:parasapo@vectorinc.co.jp